

東御市立図書館評価

令和7年度の取り組み結果

資料2

評価段階
 A…計画通り実施し、一定の成果があった。
 B…概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
 C…不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった。

★東御市「総合計画」に基づく評価

施策 目標	評価対象事業	目標値	令和7年度目標	令和7年度取り組み結果	自己 評価	委員 評価	外部評価指摘事項	評価
⑱ 確かな学力豊かな心、健やかな身体を育む教育の推進 ⑳ 人づくり、地域づくりにつながる生涯学習の推進（R6～総合計画）								
・地域の情報の収集・提供の拠点として、市民の「読みたい・調べたい・学びたい」に応える図書館を目指します。								
ア 図書館貸出冊数の増加	年間貸出冊数 冊	・ 令和6年度からは貸出冊数を目標値とする。 貸出冊数 162,000冊	・ 貸出冊数 149,631冊 (R6年度実績：147,095冊) 来館者数 75,083人 (R6年度実績：72,056人)	C				
イ 蔵書の充実	R6年度（2024年度）を修正 ↓ R8年度（2026年度）までに 18万冊	蔵書数 175,000冊	・ 蔵書数 175,923冊 (R6年度 173,269冊) (R5年度 172,000冊)	A				
ウ 市民ニーズの把握	3年毎にアンケートを実施。利用者のニーズを把握し改善する。	課題を洗い出し、改善を図る。	・ 課題である図書館のPR不足を解消するため広報周知を強化した。	B				
エ 図書館評価	内部・外部の評価を実施し、公表する。	R6年度評価結果を公表し、図書館運営の充実を図る。	・ R6年度評価結果を令和7年8月に館内及びHPに公表した。	B				

★東御市立図書館「基本理念」に基づく評価

基本目標 ～出会いを楽しむ 学びと創造の拠点づくり～

施策 目標	評価対象事業	中期的目標	令和7年度目標	令和7年度取り組み結果	自己 評価	委員 評価	外部評価指摘事項	評価
1 読書や学習活動を支え、出会いと交流を楽しむ図書館								
① 市民の読書環境、学習環境の充実を図ります。								
	読書環境の整備と充実	蔵書の充実・予約サービス等各種サービスを充実し利用者が満足する読書環境を提供する。	寄贈本の積極的な受け入れ490冊発行して1年以内の本、特に絵本、紙芝居、児童書を依頼し図書館の蔵書不足と、市民が読み終えた本の有効活用を図る	・寄贈本 482冊	A			
② 市民のニーズに応えるさまざまな講座を開催し、学習・交流の場を提供します。								
	朗読講座	朗読等の講座を開設し、朗読の技術向上を志す市民の交流の場を提供する。	・実施数3回	・実施数3回（延べ27人参加） 池田知可子先生が「朗読の基本を学ぶ」講座を3回コースで行った。	A			
③ 閲覧席の充実、休憩や飲食コーナーを配置して居心地の良い空間を提供します。								
	施設管理等	施設管理等により読書環境を維持する。施設内外の環境美化、図書の破損・汚損防止に努める。	・案内誘導の強化、工夫 ・巡回点検、施設管理・補修・修繕・館外環境の整備（草刈・除雪等）	・クロちゃんのパネルを設置し誘導。 ・館内の巡回点検等をした。 ・館外環境の整備をした。	A			

施策 目標	評価対象事業	中期的目標	令和7年度目標	令和7年度取り組み結果	自己 評価	委員 評価	外部評価指摘事項	評価
2 地域の情報拠点、暮らしや仕事に役立つ図書館								
① 庁舎併設の利点を生かし、行政資料の積極的な収集・提供に努めます。								
	行政資料収集・提供	予算関係・事業報告・事業計画等の資料収集を行い、蔵書の充実を図る。	計画策定部署に提供の依頼をすると共に、情報の収集、情報の発信を行う。目標100冊	収集対象資料 127冊 （R6年度 100冊） ・計画策定部署に提供依頼の働きかけを行い、積極的に収集を行った。	A			
② 広域ネットワークを利用した幅広い資料の提供を行います。								
	上田地域広域ネットワーク	ネットワークを活用して予約・貸出・返却の機能充実を図る。	エコール管内での利活用拡大を図る。目標68,500冊	Web予約冊 R7年度 70,198冊 （R6年度69,168冊）	A			

③ 農業、地場産業、観光に関する情報の収集に努めます。							
産業振興関連の蔵書収集	農業・地場産業・観光に関する蔵書の充実を図る。	ワイン関係、農業、観光等書籍の拡充	・ワインに関する蔵書の常設コーナーを設置し、市民の地場産業への関心を高めた。ワイン17冊・農業50冊・観光21冊購入した。	A			
④ インターネット、データベースを活用した情報提供の充実を図ります。							
インターネット利用による情報提供	インターネットの活用により課題解決の手助けを行う。	インターネット利用 900件	・インターネット利用 716件 (R6年度実績 804件)	C			
⑤ レファレンスサービスの向上に努めます。							
レファレンスサービスの利用促進	身近なレファレンスサービスの実施。	・レファレンスサービスの実施 280件	・レファレンスサービスの実施 234件(R6年度実績272件) ・質問しやすい雰囲気づくりを心がけた。	A			

施策 目標	評価対象事業	中期的目標	令和7年度目標	令和7年度取り組み結果	自己 評価	委員 評価	外部評価指摘事項	評価
3 学校、家庭、地域との連携で子供たちを育てる図書館								
①ブックスタート事業や絵本の読み聞かせ等を行い、幼年期の読書環境の整備に努めます。								
	ブックスタート事業・幼児と絵本等	赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合う時間を育てる。	ブックスタートで絵本の出張プレゼント実施（毎月）絵本を介して親子の触れ合いの大切さを説明。	・ブックスタート（12回：140冊） ・幼児と絵本（4回：102人）2歳児歯科健診で絵本を楽しむ体験を実施	A			
②幼・保・小・中学校と連携し、学習活動の支援を行います。								
	学校・保育園等連携事業	学校図書館へ調べ学習の支援を行い、授業での図書の活用・利用促進を促す。	・調べ学習貸出の実施 ・移動図書館車の保育園巡回	・調べ学習等貸出の実施 延べ7回、103冊（R6年度18回、263冊） ・移動図書館車の保育園巡回を行った。	A			
③学校・家庭と連携し、子供の読書環境の整備充実を図ります。								
	読み聞かせ講座事業	読書・読み聞かせ講座等を開設し、読み聞かせの楽しさへの理解を深める。	読み聞かせのための講座を開催する。読み聞かせ活動をする人のスキルアップに努める。	・いきいき読書講座の開催2回29人（7月13名、1月16名） ・読み聞かせの基本についての講座を行った。	A			
④地域の高校生、専門学校生、大学生にも親しめる学習場所として、若者の創造性を培う環境の整備に努めます。								
	実習・研修受入れ事業	職場体験により、図書館への理解を深める。	・職場体験等の受入指導内容の点検を行い、より効果的な指導を目指す。	・実習受入を実施。職業に従事する機会を与えた。（東部中3人・北御牧中1人）	A			

施策 目標	評価対象事業	中期的目標	令和7年度目標	令和7年度取り組み結果	自己 評価	委員 評価	外部評価指摘事項	評価
4 地域文化を創造し、市民協働による図書館								
①市民の学習活動、文化活動等を活発に展開します。								
	文化活動支援	市民の求めに応じた出前講座を行い、地域の文化活動を支援する。	・出前講座の実施 本や紙芝居などを通してお話の世界を楽しみ、豊かな心を育む。	・出前講座を2件実施した。 (北御牧児童館児童クラブ・北御牧子育て支援センター)	A			
②市民が参画できるような、図書館運営を目指します。								
	イベントへの市民参加	朗読会・図書館まつり等に市民から協力を求め、企画段階から参加し、協働運営を目指す。	市民協働イベントの開催（図書館まつり・朗読会）	・10月開催の朗読会では、出演者が主体となり、選書・構成・演出を行った。 ・「大人のための読み聞かせ」を3回開催した。	A			
③図書館ボランティアの育成に努め、活動を支援します。								
	朗読ボランティア育成	朗読ボランティアへの活動支援を行い、レベルアップを図る。	育成支援活動の実施（朗読講座、朗読会）	・朗読会を開催するにあたり、出演者の技術向上のための指導会を3回実施した。	B			